

(公社) 日本水環境学会東北支部「水ものがたり研究会」

第 17 回水ものがたり研究会 報告

「水ものがたり研究会」は、小中学校、高校や大学で行われている授業の成果を生徒や学生に発表する機会を設け、社会で活躍している研究者や技術者などとの意見交換を行います。次世代を担う若者の視点や発想に着目しながら、これからの水環境に関する調査研究や教育支援の在り方を考えます。

主催：(公社)日本水環境学会東北支部「水ものがたり研究会」

日時：2019年3月16日(土) 10:00~16:30

場所：東北大学 工学部 人間環境系 教育研究棟 (仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-06)

1 階 土木大講義室 (口頭発表)、2 階 土木演習室 (ポスター発表)

報告

第 17 回「水ものがたり研究会」は添付プログラムの下、参加者の活発な質疑応答を得て、盛会裏に終了しました。なかでも、今年はポスター発表の件数が多かったこと、また高校生の他のポスター発表への理解を深める目的からコアタイムを設けました。その結果として、自分のコアタイム以外の時には積極的に他のポスター発表を見て回り質問するなど、高校生の積極性を引き出すことができたと考えられます。また、例年、午前にポスター発表、午後に口頭発表を実施していますが、今年は口頭発表 15 件中 14 件 (93%) がポスターでも発表されていました (例年は約 40-50%)。結果として、ポスター発表での活発な議論によって高校生が口頭発表の研究内容の理解を深め、口頭発表で例年より高校生から質問が多くあり、活発な議論を形成することができたと考えられます。近年、将来の研究者を育てることを理念に、特に理学系の学会においては高校生の参加は広く行われ、高校生が専門家のコメントを広く聴く機会を設けられています。本研究会は、将来の研究者の育成には、活発な議論も不可欠であると考えており、継続して議論の活性化にも努めていく所存です。



開会挨拶
世話人
後藤光亀

先端研究「廃水からのエ
ネルギー生産」東北大学
久保田健吾 准教授

口頭発表 15件



大学生の体験談
「アナモックス反応による窒素除去&私の研究室生活」 主催：(公社)日本水環境学会東北支部
東北大学大学院工学研究科 修士2年 白砂智将 「水ものがたり研究会」

ポスターセッション 31件

第17回 水ものがたい研究会

討議者

2019.03.16
東北大学工学部
参加者114名

事例研究「奇跡の湿地・洲崎湿地周辺の水環境創生の動き〜」 貞山・北上・東名運河研究会 後藤光亀



集合写真

主催：(公社)日本水環境学会東北支部「水ものがたり研究会」

第17回 水ものがたり研究会

日時：2019年3月16日(土)10:00～17:15

場所：東北大学工学部人間環境系研究棟